

# 山田小学校だより (Metamorphose)



文責 校長 谷川晴峰

## ザックリですが、日本語と英語の違いは？

学校便り第13号でも「英語」に関する話題を記しましたが、その続編です。英語を習得しようと思っても、なかなか身に付かないのが現実です。ざっくりですが、その理由について考察したいと思います。

### ① 英語と日本語では、文法が違いすぎる

まず語順が違います。日本語は「SOV」ですが、英語は「SVO」という語順になります。この段階で「だから英語は嫌い！」という声も聞こえてきそうです。文法用語で表現すると次のようになります。□

S: 主語 (Subject) V: 動詞 (Verb) O: 目的語 (Object)

「トムが、リンゴを食べた」のように、動詞の「食べた」が最後に来ます。この「SOV型」ですが、他にはドイツ語、オランダ語、アイヌ語、韓国語等々、言語の約45%を占めるポピュラーな型と言えます。英語では、「Tom ate apples.」となり、日本語とは違って、主語の次に動詞が来ます。世界の言語に目をやると、アラビア語を代表する「VSO型」、マダガスカル語などの「VOS型」、そして、「OVS型」や、「OSV型」という語順の国々も存在しています。つまり、日本語も英語も数ある文法の中の一つに過ぎないのです。換言すれば、異国語を習得するには「文法を学び理解する」ことが最も効率的で、無駄が無いということになります。

### ② 英語では、「主語」を省略できない

例えば日本語で、「簡単です」ということばを英語に直すと、「It's easy.」となり、「It」という主語が必要になります。天候や時間を表現する際にも必須ですね。

### ③ 英語と日本語は表記が違いすぎる

日本語 …… 漢字・ひらがな・カタカナ (+アルファベット)

英語 …… アルファベット

漢字は文字自体が意味をもっているのです。漢字を見れば大体の意味が分かります。「A」というアルファベット自体には音を表すのみで、「意味」は全くありません。

### ④ 英語と日本語は発音が違いすぎる

特に違うのが、母音の数です。□

日本語の母音の数 : 約5個 英語の母音の数 : 約16個 (イギリス英語は約20個)

また、子音の数も日本語が少ないので、英語を聞き取りにくい場面にも遭遇します。カタカナ表記を多用する傾向にある日本語では、例えば「ライト」と書かれている場合、「light」か「right」の区別がつきにくくなります。他にも、バス: 「bus」なのか「bath」なのか? ファースト: 「fast」なのか「first」なのか? シー: 「she」なのか「sea」なのか?

最後までお読みいただけただけでしょうか? あくまでも「ザックリ」とした内容になっていますが、母国語以外の言語を学ぶと、① 母国語が進歩する ② 集中力が高まる ③ よくある脳の病気を予防する ④ 数学のスキルが向上する ⑤ あらゆる学習が速くなる ⑥ 外交的になり人に好かれるようになる ⑦ 創造性が豊かになる ⑧ 自信が高まる等の研究事例も報告されています。親子で学んでみませんか? 英語は楽しいですよ!